

一般 放課後児童クラブの充実を

奥野 寿夫 (日本共産党)



放課後児童クラブ（学童保育）の充実について質問した。

㉑ 入所児童数について伺う。

㉒ 11月1日現在の入所児童数は538人、待機児童は16人。今年5月時点の市内小学校児童数に対する入所比率は、1から3年生が39・8%、4から6年生は6・6%となっている。

㉓ 待機児童がいる加茂小学校放課後児童クラブなど、今後待機児童が発生しないための対策は考えられるか。

㉔ 加茂小学校放課後児童クラブは、今年度から加茂地区センターの研修室を借りて受入人数を増やしているが、さらなる受入場所の確保が必要だと考えている。現在は利用ニーズに地域差があるため、需要の高い長期休業期間中は校区以外の放課後児童クラブの利用も可能としている。今後は実施場所についてさらに協議を行い、民間事業所等と連携しながら受入場所の確保に努める。



㉕ 利用料について、現在の検証状況を伺う。全国で56%のクラブが兄弟・姉妹利用世帯への減免を行っている。利用料の引上げではなく減免の拡大が必要だと思うが、見解を伺う。

㉖ 現在半年分の経費の実績に基づき、本年度見込まれる原価計算を行っており、令和9年度以降の利用料について検証を進めている。多子世帯や就学援助利用家庭への減免についても、他市町の状況を参考にしながら、利用料の検証結果を踏まえ協議していく。

㉗ 他に「菊川市に働く会計年度任用職員の処遇改善」について質問しました。

一般 市内の製造業・基盤技術の維持

石井 祐太 (市政の見える化党)



AIや自動化技術が急速に進展する一方、日本の産業を支えてきた切削、金型、鋳造、鍛造などの基盤技術分野では、担い手不足と技術継承の断絶が全国的な課題となっている。

さらに、大学における素材や加工などの研究分野が縮小し、基盤となる学術が失われつつあるとの指摘もある。菊川市においても工業は地域経済を支える重要な産業であり、人口減少・高齢化が進むなかで、基盤技術を将来にどう引き継いでいくかが重要であると考え質問した。

㉘ 市として、地域の基盤技術の維持や技術継承、担い手不足が進む現状をどのように捉え、優先度をどう位置づけているか伺う。

㉙ 本市は製造業が盛んな地域であり、基盤技術の維持や技術継承、担い手不足は、いずれも重要な課題である。特に、担い手不足、人手不足については、優先すべき課題と捉えている。

㉚ 市内の工業関係事業者との意見交換では、どのような課題が上がっ

ているか伺う。

㉛ 多くの企業から、若い人材が不足しているとの声が聞かれている。市では、市内企業見学バスツアーの実施や就職情報誌の配布、奨学金返還支援制度により、企業の採用力強化を図っていく。

㉜ 基盤技術の研究分野が縮小するなか、大学等と連携し、地域として技術の土台を支える考えはあるか伺う。

㉝ 市単独での取組は難しいため、広域で連携し、フォトンバレーセンターなどの関係機関を活用した企業支援を行っている。

